

2005年9月1日プレスリリース

山口情報芸術センター(YCAM) presents

ジャン＝バティスト・アンドレ 滞在制作ダンス公演

(HIDDEN FACES / FACES CACHÉES / 隠された面)

コンセプト・ディレクション・振付・出演 ジャン＝バティスト・アンドレ

サウンド・音楽 青木孝允

映像 松本典子



©Fred Mons

滞在制作：2005年9月2日(金)～9月30日(金) 山口情報芸術センター

山口公演：2005年10月1日(土) 19:00 開演 2日(日) 14:00 開演
山口情報芸術センター スタジオ A

東京公演：2005年10月8日(土) 19:00 開演 9日(日) 14:00 開演
財団法人セゾン文化財団 森下スタジオ

主催：財団法人山口市文化振興財団

フランス外務省フランス芸術文化活動協会 (AFAA) ヴィラ・メディシス海外研修プログラム

助成・制作協力：財団法人セゾン文化財団

制作協力：アンクリエイティブ (東京公演のみ)

協力：株式会社コルグ **KORG**

株式会社カメオインタラクティブ  株式会社 カメオインタラクティブ

制作：YCAMInterLab

企画制作：山口情報芸術センター、ジャン＝バティスト・アンドレ

これは、事象の存在理由、そしてアイデンティティや物事を認識するための概念、そして世の中に存在する解明すべき謎について言及するための1つの提案である。

静かな現実、あらゆる事象について熟考する時間や夢想の空間に浸透しつつも、物事の隠された面を探る…。

同じ現実の、同じ状況の、そして同じ個々の中には常に、暴かれるべき隠されたものが存在する。

私達は、どのようにしてそれを暴いていくのか…。

ジャン＝バティスト・アンドレ

山口情報芸術センターでは、2005年9月2日(金)～9月30日(金)まで、フランスを拠点に活動する振付家／ダンサー ジャン＝バティスト・アンドレの滞在制作を行った後、山口と東京で新作公演を行います。

ジャン＝バティストは、2003年山口情報芸術センターのこけら落としで、日仏国際共同製作を行ったフィリップ・ドゥクフレ公演「IRIS」に参加し、2ヶ月間山口に滞在しました。その際に山口という土地の人々と景色、そして山口情報芸術センターの活動に共鳴し、再度、山口での創作活動を熱望。今回、2年越しで念願の再来日となりました。

■「IRIS」で、体操選手のような高度な身体能力を生かし、
アクロバティックな動きで観客を魅了したジャン＝バティスト。

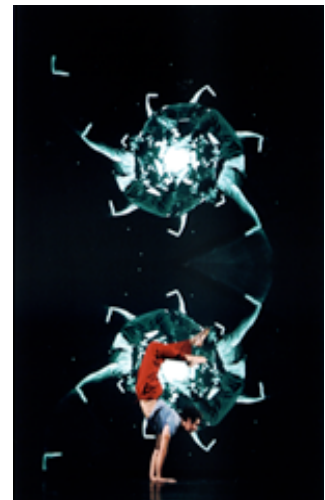
月がゆっくりと昇るシーンで見せた、柔軟な身体を存分に生かした伸びやかで叙情性溢れたダンス、また、舞台上立つダンサーがスクリーンに投射され、万華鏡のように変化していく美しい動きと、ジャン＝バティストは「IRIS」で、その高度な身体能力を最大限に使って、印象深いシーンを紡ぎ出しました。

フランスの国立サーカス学校出身のジャン＝バティストは、逆立ちや片手倒立、跳力を生かしたジャンプなど、アクロバティックな動きを取り入れつつ、詩的なダンスを見せる希有なダンサーです。

その彼が初めて作った長編の作品「interieur nuit」(2004年)は、フランス国内外で大きな反響を得ました。また、2005年夏のアヴィニョン・フェスティバルでは、ファッション、ダンスと多ジャンルで活躍するアーティ

スト／振付家クリスチャン・リゾーの作品に唯一のダンサーとして参加するなど、その活躍の領域を広げています。

そして2005年、フランス外務省フランス芸術文化活動協会(AFAA)の「ヴィラ・メディシス海外派遣プログラム」に選ばれました。フランスでは多くの独創的アーティストを生み出すサーカス表現からは初めての派遣パフォーマーとなり、次の世代の身体表現を切り拓くアーティストとして期待されています。ジャン＝バティストは、8月の一ヶ月間、日本国内をリサーチし9月に山口で滞在制作をスタート。その後、日本、フランスで公演を計画しています。



Philippe DECOUFLE
"IRIS" 撮影：宮内勝
©神奈川芸術文化財団

■日本の新しいエレクトロニクスミュージックの潮流を作ってきた中心的存在の**青木孝允**が初めてパフォーマンスのオリジナル音楽の制作に挑戦！
新進の映像プログラマー**松本典子**とジャンルを混在させ、新たな表現方法を探ります。

日本での滞在中、ジャン＝バティストは、日本のミュージシャンと映像プログラマーとともに、身体、音楽、映像を駆使した新作を発表します。

サウンド、音楽として参加するのは**青木孝允**。2001 年 PROGRESSIVE FORM からファースト・アルバム「SILICOM」で高い評価を得て以来、コンピュータ／ソフトウェアベースで独自の創作活動を中心に、オリジナルな世界観を開拓、ヨーロッパ最大のアドヴァンスド・ミュージックとマルチメディア・アートのフェスティバル「SONAR フェスティバル」など日本はもちろんヨーロッパ各国のイベントに招待され、各地で高い評価を得ている気鋭のアーティストです。今回は初めてパフォーマンスのためのオリジナルミュージック制作に挑みます。

また、映像の制作には、新進の**松本典子**が参加。「IRIS」でも映像助手を務めました。リアルタイムストーリーミングメディア、携帯端末など広帯域ネットワーク社会における情報ツールをボーダレスに用いたメディア表現の研究とシステム開発を研究し、メディアを駆使した新たな表現方法を模索しています。

* * *

この作品は、10 月 1 日、2 日には、山口市 山口情報芸術センター、そして 8 日、9 日には東京都江東区のセゾン文化財団森下スタジオで上演されます。

（HIDDEN FACES / FACES CACHÉES/ 隠された面）は、YCAM 滞在制作およびツアープロジェクトシリーズの一環で行われます。

【推薦のことば】

フィリップ・ドゥクフレ演出の「イリス」の月が昇るシーンで、ほとんど逆立ちしながらソロを踊ったダンサーがジャン＝バティスト・アンドレ。まるで腕が脚に取って代わったみたいに身体が自在に動いていた。驚異的な身体バランスコントロール力である。彼はサーカス学校出身で、このアクロバティックな技能をベースに未だ見ぬ身体のパエジーを紡ごうとしている。

今年 26 歳、日々模索しながら表現の未踏の地平に挑戦しようとしているのだ。ダンス？サーカス？などと気にしてもはじまらない。YCAMには1ヶ月滞在し2人の同世代の日本人アーティストと小さな新作を立ち上げる。何がでてくるのかここから期待してしまう。

佐藤まいみ（舞台芸術プロデューサー）

【”interieur nuit_”（2004 年）劇評】

アーティスト ジャン＝バティストと投影される彼の影が視覚を拡大させる。観客の頭上を、そして壁を、重力を無視して歩く。現実から幻覚へと、見るものの視点を増幅する。放蕩息子のジャン＝バティストは、四肢を使ってすばらしい作品を披露した。彼は、ダンス、舞台表現そしてマルチメディアを駆使し、サーカス表現を開拓する詩人といってもいいだろう。

ピエール・ノット「アール・ドゥ・ラ・ピスト」(2004 年 7 月)より

【アーティストプロフィール】

ジャン＝バティスト・アンドレ / Jean-Baptiste André (コンセプト、ディレクション、振付、出演)

1979年フランス・ランス地方生まれ。シャロン国立サーカス芸術学校（フランス）卒。曲芸とピエロ芸を専門とするアートとサーカス、またはニューテクノロジーと現代美術を横断する舞台の研究、創作を行う。また同時に、フィリップ・ドゥクフレやジル・バロン、クリスチャン・リゾー等の振付家の作品にも参加。初の長編作品「interieur nuit_」(2004年) では、フランス国内各都市を始め、アメリカやタイでも公演され、各地で高い評価を得る。
フランス外務省が国内のアーティストの海外創作活動を支援する「ヴィラ・メディシス海外派遣プログラム」において、サーカス分野では初の奨学生となる。

青木孝允 AOKI takamasa (サウンド、音楽)

[op.disc / PROGRESSIVE FOrM / cirque] <http://www.aokitakamasa.com/>

1976年大阪府生まれ。フランス・パリ在住。2001年初頭にPROGRESSIVE FOrMから自身にとってのファースト・アルバム「SILICOM」をリリースして以来、コンピューター／ソフトウェア・ベースの創作活動を中心に、独自の音楽表現の領域を力強く押し広げる気鋭のアーティスト。CPUを極限までドライヴさせる一見過激とも思えるスタイルからリズムやグルーブ感を創出。日本国内のみに留まらずスペイン・バルセロナでのSONARフェスティバルをはじめ、ヨーロッパ各都市のイベントに招かれており、そのパフォーマンスは各地で支持を集めている。
本年はTujiko Norikoとのコラボレーション・アルバムをUKのfatcat recordsよりリリース、そして半野喜弘と田中フミヤが新たに立ち上げるレーベルop.discからのシングル及びアルバムのリリースを予定。

松本典子 MATSUMOTO Noriko (映像) <http://www.iamas.ac.jp/~q-03> <http://gabocoy.hello.to>

1980年大阪府生まれ。成安造形大学映像学科在学時より舞台映像演出やVJ、プロモーションビデオ制作（MTV、スペースシャワー）など音楽やパフォーマンスを中心とした映像表現に携わる。現在は情報科学芸術大学院大学（IAMAS）にてリアルタイムストーリーミングメディア、携帯端末など広帯域ネットワーク社会における情報ツールをボーダレスに用いたメディア表現の研究とシステム開発をおこなう。
またMax/Msp jitterで開発された映像演出用プラットフォーム「dbv」の開発研究（共同開発／堀井哲史）を行い頒布している。ネットや観客の携帯端末、空間、音響などのソースをネットワークを介して複合的に取り込むネットアートグループ「gabocoy」としてmetamorphose2005に参加。

ジャン＝バティスト・アンドレ 滞在制作ダンス公演

(^{ヒドゥン・フェイシズ} ^{ファス・カシエ} **HIDDEN FACES / FACES CACHÉS** / 隠された^{めん}面)

ジャン＝バティスト・アンドレ、青木孝允、松本典子

□山口公演

日時：2005年10月1日(土) 19:00開演 2日(日) 14:00開演 (各回30分前開場)

会場：山口情報芸術センター スタジオA

山口市中園町7-7 TEL. 083-901-2222 FAX. 083-901-2212

料金：全席自由 (税込)

前売 一般 1,500円 any会員／特別割引 1,000円

当日 2,000円

チケット取扱：山口市文化振興財団チケットインフォメーション：

TEL. 083-920-6111 (受付時間10:00～19:00 火曜休館 祝日の場合は翌日)

ローソンチケット：TEL. 0570-063-006 Lコード67654

・特別割引について

特別割引は、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障害者及び同行の介護者1名が対象。

山口情報芸術センター、山口市民会館、山口南総合センターのみの販売となります。

・託児サービス

対象: 0才以上 託児時間:開演の30分前から終演後30分後まで

料金: お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法: 各公演日の8日前までにチケットインフォメーション(TEL083-920-6111)までお申し込みください。

<山口情報芸術センター(YCAM)へのアクセス>

* 山口宇部空港から

・乗合タクシーでYCAMまで 約1時間(1500円) ※前日18:00までに予約が必要 大隅タクシー 0120-31-0860

・空港連絡バスでJR新山口駅まで 30分(870円)

* JR新山口駅から

・JR山口線湯田温泉駅下車、徒歩20分/タクシー5分

・JR山口線山口駅下車、徒歩20分/バス10分(中園町か済生会病院前下車)/タクシー5分

・防長バス25分、中園町下車

* 自動車利用

・山陽自動車道で防府東ICから30分 ・九州・中国自動車道で小郡ICから15分

□東京公演

日時：2005年10月8日(土) 19:00開演 9日(日) 14:00開演 (各回30分前開場)

会場：森下スタジオ

東京都江東区森下3-5-6 TEL. 03-5624-5952 (公演当日のみ)

料金：全席自由 (税込)

前売 一般 1,500円 特別割引 1,000円

当日 2,000円

チケット取扱：アンクリエイティブ TEL. 03-5458-60548

チケットぴあ TEL. 0570-02-9999 Pコード364-227/0570-02-9988(オペレーター予約)

■両公演のお問い合わせ：

よつもと ともこ

山口情報芸術センター 企画 岸 正人、四元 朝子、広報 小滝友見子

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7 山口情報芸術センター

TEL. 083-901-2222 FAX. 083-901-2216 E-mail. information@ycam.jp <http://www.ycam.jp/>